

2015年1月8日

株式会社ワークスアプリケーションズ

**トヨタグループ・ジェイテクト、
「COMPANY」会計シリーズを17社で同時稼働
～グローバル視点で経営管理の高度化実現を目指す～**

株式会社ワークスアプリケーションズ（本社：東京都港区、代表取締役最高経営責任者：牧野正幸、以下 ワークス）は、株式会社ジェイテクト（本社：愛知県名古屋市、取締役社長：安形哲夫、以下 ジェイテクト）、および連結対象会社を合わせた17社より、「COMPANY 会計シリーズ」を受注し、一般・管理会計、債権・債務管理、固定資産管理などの、経理の基幹業務システムが稼働いたしましたので、お知らせいたします。受注製品名は、「COMPANY Financial Management」「COMPANY Business Management」「COMPANY Assets Management」です。

●ムービングターゲットへの追従を可能にする「COMPANY」独自のコンセプト

ジェイテクトは、「モノづくりを通じて人々の幸福と、豊かな社会づくりに貢献する」という企業理念のもと、自動車関連から、鉄鋼、鉄道、航空・宇宙、建設機械・農機、風力発電など、さまざまな領域で社会を支える事業を展開しています。

同社は、既存システムの老朽化とIFRS導入に伴ってシステム入れ替えの検討を開始し、下記2点を主な評価ポイントとして、「COMPANY」を採用しました。

1. IFRS対応において、既に実装されている機能があり、今後の未確定な動きに対しても、標準機能で実装されることが約束されていた点。
2. 「ノーカスタマイズ」「無償バージョンアップ」という開発コンセプトにより、既存システムにおける大きな課題であった、変化の度に繰り返すカスタマイズ・モディファイがもたらす、先の読めないコストの増大と業務・運用の複雑化からの脱却を実現できる点。

●17社、3拠点同時導入 ～ガバナンス強化に向けたプラットフォームの統一～

国内に44社、海外に114社の関係会社を持つ同社は、国内はもとより、グローバル規模でのガバナンス強化を目的として、システムと業務の整備を進めています。まずは第一段階として、国内の会計業務の一元管理実現に向け、本社と連結対象会社を合わせた17社について、中部・大阪・東京の3拠点で「COMPANY」を一斉稼働いたしました。今期は順次、国内関係会社への展開を進め、国内での会計業務のプラットフォームを「COMPANY」に統合する予定です。今回の「COMPANY」の導入を機に、グループ全体での経理・財務情報の見える化だけでなく、勘定科目の統一やコード体系の整備を進めることで、グローバル規模でのジェイテクトグループ全体のガバナンス強化を推進します。

●1 ジェイテクト1システム ～情報の一元管理による経営管理の高度化を目指す～

同社は、会計シリーズの他に人事シリーズの「COMPANY 人事・給与」「COMPANY Web

Service」、グローバルでの人材情報管理、サクセッションプランの実施に向けて、「COMPANY グローバル人事」「COMPANY Talent Management」も採用しています。会計シリーズ、人事シリーズ双方を活用することにより、中期経営計画に根ざした各事業戦略をより確実に推進します。